

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	キャリアデザイン					科目	キャリアガイダンスⅡ
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
生徒の進路実現を目指し、適性や職種に興味・関心を抱かせ、自己理解と進路意識を高めさせる。	コミュニケーション力、自己表現力、集中力、忍耐力や、挨拶や言葉遣い、話を聞く態度などの礼儀作法といった、将来、職業生活をしていく上で必要とされる能力の育成をはかる。	出席、課題の取り組み・提出状況

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数					
			知	思	態						
1 学期	4	進路学習	CGオリエンテーション 進路指導室の使い方 進学適性検査	○	○	○					
		5					進路学習	作文練習 進路ガイダンス インターンシップについて	○	○	○
							6				
	7	進路学習	自己理解について	○	○	○					
		2 学期	9				進路学習	企業の比較研究 生涯賃金について インターンシップ先の企業研究	○	○	○
	10			進路学習	求められる社会人像について ビジネスマナー講習会	○	○	○			
				11	インターンシップ						
12	インターンシップ		インターンシップ報告会の準備 インターンシップ報告会の準備		○	○	○				
	3 学期		1					学び直し	様々な教科の復習	○	○
2				進路学習	履歴書の練習	○	○	○			
		3	学び直し	様々な教科の復習	○				○	○	

年間予定授業時間数

70

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業に対して積極的に取り組んでいる</li> <li>○外部講師や企業の方と接する際の礼儀作法を身につけている。</li> <li>○資料の中からの的確に情報を収集することができる。</li> <li>○自身の考えを指定された様式で書き表すことができる。</li> </ul>
備考	朝学習として、月曜日から金曜日の朝10分間授業(週5回)を含む。

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	外国語(英語)					科目	英語コミュニケーション I 演習
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	VISTA English Communication I
教科・科目のねらい(目標)							
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【主体的に学習に取り組む態度等】	
東京の工業高校生としてコミュニケーションをとるのに必要な単語の知識、および正確に聞き取ったり読んだりする技能を身につける。			東京の工業高校生としてコミュニケーションをとるのに必要な表現力、聞き取る力を身につける。			東京の工業高校生としてコミュニケーションをとる際に、わからないことがあっても話すこと、読むこと、聞くことを継続しようとしている。	
学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定 時数	
			知	思	態		
1 学 期	4	クラス分け				28	
			1年次の復習 自己紹介練習	○	○		○
	5	Lesson6 Machu Picchu	マチュピチュについて 自己紹介	○	○		○
	6	Lesson6まとめ Lesson7 Artificial Intelligence	スピーキングテスト①、音読① 人工知能について	○	○		○
	7	Lesson7まとめ 確認テスト	スピーキングテスト②、音読②	○	○		○
	2	Lesson8 Is There a Santa Claus?	サンタクロースについて	○	○		○
	10	Lesson8まとめ Lesson9 Kids' Guernica	スピーキング①、音読① キッズゲルニカについて	○	○		○
11 学 期	Lesson9まとめ 確認テスト	スピーキング②、音読②	○	○	○	30	
	12						
3 学 期	1	Lesson10 Ethical Fashion	エシカル・ファッションに向けて	○	○	○	12
	2	TGGに向けて 確認テスト	TGGでの校外学習に向けた準備	○	○	○	
	3			○	○	○	
						年間予定授業時間数	70
評価の方法	1. 主体的に学ぶ態度(言語活動においてコミュニケーションを継続する姿勢) 2. 知識・技能(コミュニケーションを行う上で使用頻度の高い単語、教科書内容を理解する上で必要な単語の知識、聞かれたことを正確に理解する技能、正確に聞き取る技能) 3. 思考・判断・表現(コミュニケーションを成立させる力、相手に伝わる話し方の表現、聞いた内容から概要を理解する力) 以上3観点についてA,B,Cの評価をする。						
備考							

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	家庭科					科目	家庭基礎
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	図説 家庭基礎 実教出版

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え家族・家庭の意義、社会との関りについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等について理解しているとともに、それに関わる技能を身に着けている。	生涯を見通して家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に着けている。	様々な人々と協働しよりよい社会・生活の構築に向け、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善し、自分の課程や地域社会の生活を想像し実践しようとしている。

学期	(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
				知	思	態	
1 学期	4	衣生活をつくる	人と衣服の関り・衣服の機能・衣服の機能	○	○	○	28
		人と関わって生きる	自分と家族。青年期。男女共同参画社会。労働。家族の法律	○	○	○	
	5	衣生活をつくる	エプロン製作・衣服の手入れ	○	○	○	
		食生活をつくる	栄養素・食品の選択と表示・食事摂取基準	○	○	○	
	6	社会と関わる	社会保障制度・地域社会とボランティア活動	○	○	○	
		食生活をつくる	調理の基本・調理実習	○	○	○	
	7	人と関わって生きる	自分と家族。青年期。男女共同参画社会。労働。家族の法律	○	○	○	
社会と関わる		社会保障制度・地域社会とボランティア活動	○	○	○		
2 学期	9	住生活を作る	人と住まいのかかわり・住空間と平面計画	○	○	○	30
		子どもとかかわる	子どもを知る・生命の誕生と子どもの発達・子どもと遊びと環境	○	○	○	
	10	食生活をつくる	栄養素・食品の選択と表示・食事摂取基準	○	○	○	
		衣生活をつくる	人と衣服の関り・衣服の機能・衣服の機能	○	○	○	
	11	食生活をつくる	調理の基本・調理実習	○	○	○	
		衣生活をつくる	エプロン製作・衣服の手入れ	○	○	○	
	12	子どもとかかわる	子どもを知る・生命の誕生と子どもの発達・子どもと遊びと環境	○	○	○	
消費者として自立する		消費行動を考える・契約・販売方法と問題商法	○	○	○		
3 学期	1	高齢者と関わる	高齢者の生活・年金・介護保険・高齢者の心身の変化	○	○	○	12
		消費者として自立する	多様化する支払方法・消費者の権利と責任・経済の中の家計	○	○	○	
	2	消費者として自立する	消費行動を考える・契約・販売方法と問題商法	○	○	○	
		住生活を作る	人と住まいのかかわり・住空間と平面計画	○	○	○	
	3	消費者として自立する	多様化する支払方法・消費者の権利と責任・経済の中の家計	○	○	○	
		高齢者と関わる	高齢者の生活・年金・介護保険・高齢者の心身の変化	○	○	○	

年間予定授業時間数

70

評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等)</li> <li>2. 被服製作、調理実習(取り組み、出来ばえ、創意工夫等)</li> <li>3. 提出物(作品、授業プリント、実習レポートの提出と取り組み状況)</li> <li>4. 小テスト</li> <li>5. 確認テスト(学期に3回実施)</li> </ol> <p>以上の5項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	工業(キャリア技術)					科目	製図
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	製図[工業707]

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
製図に関する基礎的・基本的な知識を理解し、図面等の役割や作図法などについて、実践的な知識および技能を身につけている。	製図の基礎的・基本的な知識を活用し図面などの作成に関する基礎的・基本的な技術を習得するとともに図面などを正しく読み、作成することができる。	授業準備を行い、授業に積極的に参加し自ら製図における基礎的・基本的な知識や技術を習得しようとしている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4 製図1	基礎技術 I で学んだ製図の基礎の復習 クラス分け試験 第三角法による投影図と等角図による立体図示、線の種類と用途	○	○	○	25
	5 物体の図示	立体の表現 等角投影図と三角法 補助投影図	○	○	○	
	6	展開図について 断面図について	○	○	○	
	7 基礎製図検定指導	基礎製図検定の概要 演習	○	○	○	
2 学期	9 基礎製図検定指導	演習 基礎製図検定 試験	○	○	○	25
	10 機械製図の基礎的な知識	基礎的な図形の製図 製図に用いる文字の練習	○	○	○	
	11	線円弧、45° の斜線、 市松模様	○	○	○	
	12	正六角形のハニカム模様	○	○	○	
3 学期	1 機械製図の基礎的な知識	機械要素の製図演習 (ボルト・ナット)	○	○	○	10
	2	機械要素の製図演習 (歯車)	○	○	○	
	3					
年間予定授業時間数						60

評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業態度(出欠席の状況、授業への取り組み)</li> <li>2. 実技(期限内における作業内容・取り組み)</li> <li>3. 提出物(課題の提出状況)</li> <li>4. 基礎製図検定試験の結果を評価に反映する。</li> </ol> 上記の4項目について総合的に評価を行う
備考	クラスによって授業時数に前後あり

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	工業					科目	機械設計基礎
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	実教出版 機械設計1

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
機械設計の各分野について、基礎的な知識と技術を体系的・系統的に身に付け、社会環境に適した機械設計の意義や役割を理解している。	機械設計に関する課題を発見し、倫理観を踏まえた思考・判断力に基づいて、合理的かつ創造的に課題について考え、その成果を的確に表現する力を身に付ける	機械設計に関する諸事象について関心をもち、社会の改善・向上を目指して、自ら学び、工業の発展に主体的・協働的な態度および創造的・実践的な態度を身に付けようとしている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学期	第一章					35	
	4	1. 機械のしくみ	○	○	○		
		2. 機械設計	○	○	○		
	5	第二章					
		1. 機械に働く力		○	○		○
		力の合成と分解	・力の合成・分力の作図・計算の仕方を理解させる				
	6	力のモーメントと偶力	・力のモーメント・計算の仕方を理解させる。	○	○		○
力のつり合い		・偶力について理解させる。	○	○	○		
7	重心	重心の求め方・計算の仕方を理解させる。	○	○	○		
	確認テスト	1学期確認テスト(1学期学習した内容から出題) 答案返却	○	○	○		
2 学期	9	2. 運動				35	
		直線・回転運動	・速度の加速度の計算の仕方を理解させる。	○	○		○
			・周速度・角速度・回転速度の意味と計算の仕方を理解させる。	○	○		○
	10	3. 力と運動の法則	・運動の三法則、運動量保存の法則を理解させる。	○	○		○
				○	○		○
	11	4. 仕事と動力	・エネルギーと仕事、動力の表しかた・計算法を理解させ、それらの関係を理解させる	○	○		○
12	5. 摩擦と機械の効率	・機械に働く摩擦の種類と性質について考察させ、その計算法を理解させる。	○	○	○		
	確認テスト	2学期確認テスト(2学期学習した内容から出題)・答案返却	○	○	○		
3 学期	1	第三章 材料の強さ				10	
	2	1. 材料に加わる荷重	・材料の機械的性質を学ぶ意義を理解させる。	○	○		○
			・荷重に関する用語と分類について理解させる。	○	○		○
	3	2. 引張・圧縮荷重	・応力とひずみの関係を考察させ、応力-ひずみ線図とその内容を理解させる。	○	○		○
		・応力の単位、引張・圧縮応力やひずみの意味、その計算法を理解させる。	○	○	○		
	3. せん断荷重	・せん断応力とせん断ひずみは、既習の垂直応力とひずみを対比して理解させる。	○	○	○		
	3	学期確認テスト(一年間学習した内容から出題)					

年間予定授業時間数

80

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>各授業ごとのプリント等の取組状況</li> <li>ノートの板書状況及び提出</li> <li>小テストの取組み内容・習得状況</li> <li>出欠席状況</li> <li>各学期末におこなう確認テストの状況と習得状況</li> </ul> 以上を総合的に判断して評価する。
備考	※1クラス3展開の機械系の授業(座学)

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	工業(キャリア技術科)					科目	実習		
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材		
担当者						4			
教科・科目のねらい(目標)									
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【主体的に学習に取り組む態度等】			
各系列の技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。			各系列の技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。			各系列の技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数			
			知	思	態				
1 学 期	4	溶接技術	ガス溶接技術の基礎知識			44			
	5	溶接技術	アーク溶接技術の基礎知識						
	6								
	7	電気工事	電気工事の基礎 電線の被覆のはぎ取り方・基本的な接続方法						
2 学 期	9					64			
	10	電気基礎	電子工作の基礎 電気回路の基本技術						
	11	デザイン基礎	イラストレーターの使用法						
	12								
3 学 期	1	インテリア基礎	木の特徴を生かした製品加工 使用具の基礎的な知識や技術について			32			
	2								
	3	※ 上記の6項目をローテーションして実習形式の授業を行う							
						年間予定授業時間数	140		

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 2.技能・技術(到達度、作品や課題の出来ばえ、創意工夫) 3.報告書(内容、提出状況)  以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	工業					科目	電気回路基礎
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	実教出版 電気回路

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
電氣的諸量の相互関係を理解し、それらを式の変形や計算により求めることができる。 電気に関する諸量を測定するための基本的な技術をもっている。	いろいろな電気現象がなぜ起こるかを自ら学び、自ら考えることができる。また、基礎的・基本的な知識をもとに電気現象を数学的に考察し、表現することができる。	電気の諸現象に関心を持ち、学習に意欲的に取り組み、学習態度が真剣である。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学 期	4	量記号と接頭語	○	○	○	25	
		電気回路の要素	○	○	○		
		電気回路の電流と電圧	○	○	○		
	5	電気回路を構成する素子	○	○	○		
		直流回路	○	○	○		
	6	電気回路の電流と電圧	○	○	○		
		抵抗の合成	○	○	○		
7	確認テスト	1学期確認テスト(1学期学習した内容から出題)	○	○	○		
		答案返却	○	○	○		
	キルヒホッフの法則	第1法則、第2法則の理解	○	○	○		
2 学 期	9	消費電力と発生熱量	○	○	○	25	
		ジュールの法則	○	○	○		
	10	電流の化学作用と電池	○	○	○		
			電気分解の理解 一次電池と二次電池の理解	○	○		○
	11	直流の総合問題	練習問題	○	○		○
				○	○		○
12	確認テスト	2学期確認テスト(2学期学習した内容から出題)	○	○	○		
		答案返却	○	○	○		
	再生可能なエネルギーを用いた電池	いろいろな電池について、環境への影響などの理解	○	○	○		
3 学 期	1	静電気	○	○	○	10	
		コンデンサ	○	○	○		
	2	電流と磁気	○	○	○		
		磁石とクーロンの法則	○	○	○		
	3	学期確認テスト(一年間学習した内容から出題)					

年間予定授業時間数

70

評価の方法	1.知識・技能(学期末確認テスト) 2.思考・判断・表現(小テスト) 3.主体的な学習に取り組む意欲・態度(提出物)
備考	※1クラス3展開の電気の授業(座学)

# 年間授業計画

令和5年度 教科[工業・キャリア技術科] 科目[デザイン基礎]

No. \_\_\_\_\_

クラス又は班	2年1組	2年2組	2年3組	2年4組	2年5組		単位数	使用教科書・教材
担当者							2	

教科・科目のねらい(目標)	デザインに関する基礎的な知識と技術を学習する。 デザインに関する幅広い知識を習得する。 他の授業や、実習との連携をはかり、デザインに関する基礎的・基本的な内容を理解する。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定数	
1 学 期	4	オリエンテーション	年間授業計画	30	
	5	デザインの表示	デザインにおける観察と描写		
	6	デザインにおける表現方法	描写からの自己の表現		
	7	描写方法と表現方法の理解	1学期まとめ		
2 学 期	9	Adobe Illustrator演習①	デザインにおけるデジタルツールの理解 Adobe Illustrator説明、基礎的な使い方	30	
	10	Adobe Illustrator演習②	Adobe Illustrator応用、課題制作		
	11	Adobe Photoshop演習①	Adobe Photoshop説明、基礎的な使い方		
	12	Adobe Photoshop演習②	Adobe Photoshop応用、課題制作		
3 学 期	1	デザイン演習課題①	ポスター制作を通じたデザイン演習	10	
	2	デザイン演習課題②	パッケージデザインを通じたデザイン演習		
	3	まとめ	年間授業のまとめ		
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>出欠席状況、授業態度、各種提出物、学期毎の学期末確認テストによって評価をする。</li> <li>必要に応じて、講義内容の中から簡単な実技課題を与え、理論を実践していく。</li> </ul>
----------	---

備考	
----	--



# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	工業					科目	デザイン基礎
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	デザイン実践・実教出版

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
デザインに関する基礎的・基本的な知識を理解し、デザインの役割や表現方法などについて、実践的な知識および技能を身に付けている。	デザインに関する事象について、論理的に考えたり、分析したりして、総合的に判断できる。また、その過程や結果および考え方を的確に表現できる。	デザインに関する事象について関心を持ち、主体的・協働的に取り組む態度を身につけようとしている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4	オリエンテーション	年間授業計画			30
			○	○	○	
	5	デザインの表示	デザインにおける観察と描写			
			○	○	○	
6	デザインにおける表現方法	描写からの自己の表現			○	
			○	○		○
			○	○		○
7	描写方法と表現方法の理解	1学期まとめ			○	
			○	○		○
2 学期	9	Adobe Illustrator演習①	デザインにおけるデジタルツールの理解 Adobe Illustrator説明、基礎的な使い方			30
			○	○	○	
	10	Adobe Illustrator演習②	Adobe Illustrator応用、課題制作			
			○	○	○	
11	Adobe Photoshop演習①	Adobe Photoshop説明、基礎的な使い方			○	
			○	○		○
			○	○		○
12	Adobe Photoshop演習②	Adobe Photoshop応用、課題制作			○	
			○	○		○
3 学期	1	デザイン演習課題①	ポスター制作を通じたデザイン演習			10
			○	○	○	
	2	デザイン演習課題②	パッケージデザインを通じたデザイン演習			
			○	○	○	
3	まとめ	年間授業のまとめ			○	
			○	○		○

年間予定授業時間数

70

評価の方法	1. 知識・技能(学期末確認テスト) 2. 思考・判断・表現(課題・小テスト) 3. 主体的に取り組む意欲・態度(提出物)
備考	

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	国語					科目	国語表現				
	クラス又は班	21	22	23	24		25	単位数	使用教科書・教材		
担当者						2	国語表現(大修館書店) 国語の表現力トレーニングノート(大修館書店)アシスト常用漢字(数研出版)				
教科・科目のねらい(目標)											
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【主体的に学習に取り組む態度等】					
漢字検定4級相当漢字の読み書きができる。テンプレートを理解し、原稿を作成できる。			スピーチ、発表学習を通し、創意工夫を繰り返し、表現力をつける。			ワークシート、課題への取り組み。					
学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数					
			知	思	態						
1 学期	4	オリエンテーション	国語表現を学ぶ目的について			25					
		言葉と表記(1)	現代仮名づかいについて								
		漢字学習	4級配当漢字 2/30								
	5	言葉と表記(2)(3)	送り仮名、同音異義語、異字同訓								
		漢字学習	4級配当漢字 8/30								
	6	言葉と表記(4)	慣用表現								
		漢字学習	4級配当漢字 14/30								
スピーチ学習①		原稿づくり、発表、振り返り									
7	言葉と表記(5)	まとめ									
	漢字学習	4級配当漢字 16/30									
2 学期	9	整った文を書く(1)	係り受けを整える			25					
		整った文を書く(2)	文末表現の統一								
		漢字学習	4級配当漢字 22/30								
	10	相手に応じた言葉遣い(1)	和語・漢語・外来語								
		相手に応じた言葉遣い(2)	話し言葉と書き言葉								
	11	漢字学習	4級配当漢字 28/30								
		相手に応じた言葉遣い(3)	敬語を使い分ける								
12	スピーチ学習②	原稿づくり、発表、振り返り									
	相手に応じた言葉遣い(3)	敬語を使い分ける									
3 学期	1	漢字学習	4級配当漢字 30/30			20					
		スピーチ学習③	テーマの設定、原稿メモ作成								
	2	スピーチ学習③	原稿づくり、発表、振り返り								
	3	わかりやすい文を書く(1)	長すぎる文を短文に								
		わかりやすい文を書く(2)	読点を効果的に使う								
		わかりやすい文を書く(3)	あいまいな文を避ける								
						年間予定授業時間数	70				
評価の方法	ワークシート、提出物の完成度と提出状況。 協働学習への参加、課題解決に向けての意欲。 漢字テストによる学習到達度。 スピーチ、発表学習への取り組み。 上記項目を観点別に評価し、評定を算出する。										
備考											

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	国語					科目	言語文化
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	新編言語文化(第一学習社)・国語便覧(数研)

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
本文中の漢字や語句を正しく理解することができる。歴史的仮名遣いを正確に捉えることができる。	本文の内容を読み取り登場人物の心情を的確に捉えることができる。古典文学を読み、現代との共通点や相違点を捉えることができる。	発問に対して主体的に考え、周囲と話し合うことができる。積極的に課題に取り組み、期限内に提出することができる。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	クラス分けテスト		○	○	○	25
	小説	『島の少年一船』の読解と語句・漢字の学習。小説の構造を学ぶ。	○	○	○	
	小説	『島の少年一船』の読解と語句・漢字の学習。小説の構造を学ぶ。	○	○	○	
		小説の内容に対して自分の考えをもち感想を書く。	○	○	○	
	小説	『羅生門』の読解と語句・漢字の学習。小説の構造を学ぶ。	○	○	○	
		小説の内容に対して自分の考えをもち感想を書く。	○	○	○	
	小説	『羅生門』の読解と語句・漢字の学習。小説の構造を学ぶ。	○	○	○	
	確認テスト	作品の続きを想像して作品を創作する。	○	○	○	
2 学期	小説	『よだかの星』の読解と語句・漢字の学習。小説の構造を学ぶ。	○	○	○	28
		小説の内容に対して自分の考えをもち感想を書く。	○	○	○	
	古文	「古文の学習」 古文をなぜ学ぶのかの意義を知る。	○	○	○	
	古文	『徒然草』「仁和寺にある法師」	○	○	○	
	古文	『徒然草』「仁和寺にある法師」 古文の内容を捉え現代と共通点に気付く。	○	○	○	
	確認テスト		○	○	○	
3 学期	小説	『よるこびの歌』 登場人物の心情を正確に読み取る。	○	○	○	17
	漢文	「漢文の学習」 漢文をなぜ学ぶのか知る。訓読を知る。	○	○	○	
		「故事成語」『五十歩百歩』『狐借虎威』内容を理解し、漢文に親しむ。	○	○	○	
	確認テスト		○	○	○	
年間予定授業時間数						70

評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等)</li> <li>2. 提出物(授業ワークシートの提出と取り組み状況)</li> <li>3. 小テスト</li> <li>4. 確認テスト(学期に3回実施)</li> </ol> <p style="text-align: center;">以上の4項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	数学					科目	数学 I 演習
クラス又は班	21	22	23	24	285	単位数	使用教科書・教材
担当者						3	新編数学 I (数研出版)

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
小中学校で学んだ基本的な計算方法を確実に習得する。数と式の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数と式を多面的にみたり、目的に応じて適切に変形したりできるようにする。解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数		
			知	思	態			
1 学期	4	三角比	sin,cos,tan	三角比の表	○	○	○	39
		三角比の性質	三角比の応用	○	○	○		
	5	三角比の相互関係	三角比の相互関係	○	○	○		
		三角比の拡張	$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ の三角比	○	○	○		
		三角比の方程式	$\sin \theta = \alpha$ の解法					
	6	正弦定理	正弦定理	○	○	○		
		余弦定理	余弦定理	○	○	○		
7	面積	三角形の面積						
	関数とグラフ	関数の値、1次関数のグラフ	○	○	○			
2 学期	9	2次関数のグラフ	頂点が原点にある場合、平行移動した場合のグラフ	○	○	○	39	
			平方完成が必要なグラフ	○	○	○		
	10	2次関数の最大・最小	定義域のある場合、ない場合の求め方	○	○	○		
		2次関数の決定	いろいろな条件での求め方	○	○	○		
		2次方程式	2次方程式、実数解の個数					
	11	2次不等式	2次不等式	○	○	○		
2次関数とx軸		判別式の活用	○	○				
12	集合と命題	集合、命題と条件	○	○	○			
			○	○				
3 学期	1	集合と命題	命題とその逆・対偶・裏	○	○	○	27	
			命題と証明	○	○	○		
	2	データの分析	データの整理、データの代表値、データの散らばりと四分位数	○	○	○		
				○	○	○		
	3	データの分析	分散と標準偏差、2つの変量の間関係	○	○	○		
			○	○	○			

年間予定授業時間数

105

評価の方法	<p>【知識・技能】中間確認テスト、期末確認テスト、学年末確認テスト</p> <p>【思考力・判断力・表現力】中間確認テスト、期末確認テスト、学期末確認テスト、提出物、授業態度</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】出欠席、授業態度、振り返りシート</p> <p>観点別評価は各項目の点数によって評価する。</p> <p>評定は、各項目の合計点数によって評価する。</p>
備考	<p>年度当初の基礎学力検査を基に、下位10名前後をBクラスとし、残りをAクラスとする。</p> <p>ただし、学期ごとの成績により、科会でクラス替えが妥当と判断された場合は変更する。</p>

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	保健体育					科目	体育
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	ステップアップ高校スポーツ

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
技能について、指示された記録や目標とする動きにおおむね達成している。学習した内容の知識・技能についてよく書き出している。学習した内容の知識・技能についてよく発言している。	自分の考えをよく書き出したり、まとめることができる。自分の考えをよく発言したり、まとめることができる。周りの生徒と協力し、的確なアドバイスをすることができる。	欠席・遅刻なく授業に参加している。ルールを守り、話や支持をよく聞き、準備や片付けを積極的に行う。ことができる。授業を振り返り、客観的に取り組みを見直すことができる。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4	スポーツテスト	各種スポーツテスト			26
	5	バドミントン/サッカー/柔道・卓球 習熟度で3種目に分かれる	基本技術の習得 個人技能の習得 ゲーム			
	6	体育理論	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ			
		水泳	安全に関する知識			
	7		クロール 平泳ぎ			
2 学期	9	水泳	タイムトライアル			30
	10	バレーボール テニス・卓球	基礎技術の習得 個人技能の習得			
		バスケットボール	ゲーム			
	11	バレーボール テニス・卓球	基礎技術の習得 個人技能の習得			
		バスケットボール	ゲーム			
	12	体育理論	オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果			
3 学期	1	持久走	マラソン大会に向けての練習			14
	2	バスケットボール/サッカー/卓球 習熟度で3種目に分かれる	基本技術の習得 個人技能の習得 ゲーム			
	3	体育理論	スポーツとドーピング スポーツと環境			

年間予定授業時間数

70

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識及び技能</li> <li>・思考力、判断力、表現力等</li> <li>・主体的に学習に取り組む態度等</li> </ul> 以上の点を総合的に見て評価する。
備考	

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	保健体育					科目	保健
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						1	現代高等保健体育

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
知識・技能を問う問題について、おおむね解答することができる。学習した内容の知識・技能についてよく書き出している。学習した内容の知識・技能についてよく発言している。	思考・判断・表現を問う問題に対して積極的に取り組み、おおむね解答できる。自分の考えをよく書き出したり、まとめることができる。自分の考えをよく発言したりまとめることができる。	欠席・遅刻なく授業に参加している。ルールを守り、話や指示をよく聞きながらも、積極的に自分の意見を発言し、周りの生徒と協力することができる。授業を振り返り、客観的に取り組みを見直すことができる。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学 期	4 生涯を通じる健康	オリエンテーション				10
		思春期と健康	○	○	○	
		性意識と性行動の選択				
	5 生涯を通じる健康	結婚生活と健康				
		妊娠・出産と健康	○	○	○	
		家族計画と人工妊娠中絶				
	6 生涯を通じる健康	加齢と健康				
高齢者のための社会的取り組み		○	○	○		
7 生涯を通じる健康	確認テスト対策					
	確認テスト	○	○	○		
	答案返却					
2 学 期	9 生涯を通じる健康	保険制度と保健サービスの活用				13
		医療制度と医療費	○	○	○	
		医療機関と医療サービスの活用				
	10 生涯を通じる健康	大気汚染と健康				
		水質汚濁と健康	○	○	○	
		土壌汚染と健康				
	11 生涯を通じる健康	健康被害の防止と環境対策				
環境衛生活動の仕組みと働き		○	○	○		
12 生涯を通じる健康	食品と環境の保健と私たち					
	確認テスト対策					
	確認テスト	○	○	○		
3 学 期	1 社会生活と健康	働くことと健康				9
		労働災害・職業病と健康	○	○	○	
		健康的な職業生活				
	2 社会生活と健康					
			○	○	○	
	3 生涯を通じる健康	確認テスト対策				
確認テスト		○	○	○		
答案返却						

年間予定授業時間数

35

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識及び技能</li> <li>・思考力、判断力、表現力</li> <li>・主体的に学習に取り組む態度等</li> <li>・各学期確認テスト</li> </ul> 以上の点を総合的に見て評価する。
備考	

# 年間授業計画

令和5年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[スクリーン印刷]

No. \_\_\_\_\_

クラス又は班	スクリーン印刷(前期)	中国語講座(後期)			単位数	使用教科書・教材
担当者					2	無し

教科・科目のねらい(目標)	スクリーン印刷について、一連の作業を理解し、自分の作品を作成できるようにする。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数	
1 学 期	4	ガイダンス	スクリーン印刷とは 教室に使い方 道具の説明	25	
	5	デザインアイデア検討	テーマに沿った下絵を描くために調べる アイデアスケッチ		
	6	デザイン案決定	下絵清書 副詞「也」について学ぶ		
	7	スクリーン印刷用版作成	下絵をスクリーンに描く サン描画材を塗る 乳化剤を塗り、粗い油でサン描画材を落とす		
2 学 期	9	刷り	画用紙にインクを用い、実際に刷る 単色刷り 多色刷り	30	
	10	講評	生徒全員の前でそれぞれ発表する		
	11	ガイダンス	スクリーン印刷とは 教室に使い方 道具の説明		
	12	デザインアイデア検討	テーマに沿った下絵を描くために調べる アイデアスケッチ		
3 学 期	1	スクリーン印刷用版作成	下絵をスクリーンに描く サン描画材を塗る 乳化剤を塗り、粗い油でサン描画材を落とす	15	
	2	刷り	画用紙にインクを用い、実際に刷る 単色刷り 多色刷り		
	3	講評	生徒全員の前でそれぞれ発表する		
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	
----------	--

備考	授業は、前期と後期に分かれ、内容は同一。
----	----------------------

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		体験Ⅱ					科目	体験Ⅱ (マナー検定)		
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材			
担当者							2			
教科・科目のねらい(目標)										
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【主体的に学習に取り組む態度等】				
正しい礼儀作法を理解・体験し、マナー検定初級の取得を目指す。コミュニケーション能力を高め関連する技術を身に付けるようにする。			マナー検定初級を学ぶにあたり、日本の伝統文化に触れに、所作・技術の進展に対応し解決する力を養う。			マナー検定に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学期	(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数			
				知	思	態				
1 学 期	4	オリエンテーション	自己紹介・テキスト紹介		○	○	20			
		立ち居振る舞い	立つ、歩く、座る	○	○	○				
			お辞儀(日本人のお辞儀・宗教とお辞儀)	○	○	○				
	5	立ち居振る舞い	お辞儀(座位)・和室の使い方	○	○	○				
		訪問とおもてなし	約束・身だしなみ・チャイム・玄関・履物	○	○	○				
			席順・和室、洋室の違い・手土産・おいとま	○	○	○				
		笑顔の演出	笑顔の大切さ・表情チェック	○	○	○				
6	会話づくり	言葉づかい・言い間違い例・話をスムーズに進めるには	○	○	○					
	電話や手紙	電話のかけ方・手紙の書き方	○	○	○					
	テーブルマナー	日常食の基本(箸・配膳等)	○	○	○					
7		日本料理・西洋料理のマナー	○	○	○					
2 学 期	9	楽しいパーティー	服装・会話・ビュッフェスタイル	○	○	○	35			
		冠婚葬祭マナー	袋の書き方・金額等	○	○	○				
		マナー検定受検	受検	○	○	○				
	10	オリエンテーション	自己紹介・テキスト紹介	○	○	○				
		立ち居振る舞い	立つ、歩く、座る		○	○				
		お辞儀(日本人のお辞儀・宗教とお辞儀)	○	○	○					
	11	立ち居振る舞い	お辞儀(座位)・和室の使い方	○	○	○				
		訪問とおもてなし	約束・身だしなみ・チャイム・玄関・履物		○	○				
		席順・和室、洋室の違い・手土産・おいとま	○	○	○					
	12	笑顔の演出	笑顔の大切さ・表情チェック	○	○	○				
会話づくり		言葉づかい・言い間違い例・話をスムーズに進めるには		○	○					
電話や手紙		電話のかけ方・手紙の書き方	○	○	○					
3 学 期	1	テーブルマナー	日常食の基本(箸・配膳等)	○	○	○	15			
			日本料理・西洋料理のマナー	○	○	○				
	2	楽しいパーティー	服装・会話・ビュッフェスタイル	○	○	○				
		冠婚葬祭マナー	袋の書き方・金額等	○	○	○				
	3	マナー検定受検	生徒同士の話し合い、発表	○	○	○				
							年間予定授業時間数	70		
評価の方法		1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫) 3.報告書(内容、提出状況)  以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。								
備考										



# 年間授業計画

令和5年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[レタリング検定ビジュアルデザイン]

No. \_\_\_\_\_

クラス又は班	2年1組	2年2組	2年3組	2年4組	2年5組
担当者					

単位数	使用教科書・教材
2	書体サンプル集

教科・科目のねらい(目標)	レタリング検定では、日常あらゆる場面で目にする文字についての関心を高め、グラフィックデザイン・DTPなどの分野での活用例を学習し、レタリング検定4級合格程度後の知識・理解を得ることをねらいとする。ビジュアルデザインの基礎を学ぶ。
---------------	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学 期	4	オリエンテーション(共通)	・年間授業計画の説明 ・レタリング検定(欧文基本書体の拡大視写)の練習	30
	5	レタリングの知識・技術の理解		
	6	レタリングの知識・技術の理解	・レタリング検定(和文基本書体表現)の練習	
	7	レタリングの知識・技術の理解	・レタリング検定(フリーハンドによる字体表現)の練習 ・レタリング検定(模試)	
2 学 期	9	ビジュアルデザインの知識・技術の理解	・レタリングを用いた企業ロゴマークのデザイン	30
	10	ビジュアルデザインの知識・技術の理解	・レタリングを用いた企業ロゴマークのデザイン	
	11	ビジュアルデザインの知識・技術の理解	・レタリングを用いた企業ロゴマークのデザイン プレゼンテーション	
12	ビジュアルデザインの知識・技術の理解	ロゴを用いたポスターの作成		
3 学 期	1	ビジュアルデザインの知識・技術の理解	ロゴを用いたポスターの作成 プレゼンテーション	10
	2			
	3	まとめ	1年間を振り返っての反省	
年間予定授業時間数				70

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度(出欠席の状況、授業への取り組み)</li> <li>・技能・技術(課題の内容、提出状況)</li> <li>・問題集(解答の内容、提出状況)、小テスト</li> </ul> 上記の3項目について総合的に評価を行う
----------	---

備 考	
-----	--

# 年間授業計画

令和5年度 教科[キャリア技術] 科目[体験Ⅱ]講座名[情報処理技能検定]

№

クラス又は班	情報処理技能検定				単位数	使用教科書・教材
担当者					2	情報処理技能検定試験 表計算模擬問題集 3・4級 編(日本情報処理検定協会)

教科・科目のねらい(目標)	Excel操作、関数、演算子等を理解し、活用することができるようにする。 主体的に学び、関連する技能を身に付けることができるようにする。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数		
1 学 期	4	ガイダンス	情報処理技能検定試験に合格するための技能等を知る。	16		
		Excel操作 関数、演算子	連続したデータを入力する時、複数のセルを選択する時のポイントを理解する。IF関数、ROUND関数、ROUNDDOWN関数、ROUNDUP関数、RANK関数、比較演算子を理解する。			
		関数 ホームタブ 情報処理技能検定試験対策	SUM関数、AVERAGE関数、COUNT関数、MAX関数、MIN関数を理解する。ホームタブの数値グループ、編集グループ、配置グループ、セルグループを理解する。情報処理技能検定試験の問題等に取り組む。			
	2 学 期	9	情報処理技能検定試験対策		情報処理技能検定試験の問題等に取り組む。	10
			情報処理技能検定試験対策		ワークシートの分析を理解する。情報処理技能検定試験対策のまとめを行う。	
		10				
3 学 期	1					
	2					
	3					
年間予定授業時間数				26		

評価の観点・方法	情報処理技能に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付けている。
	主体的に学ぼうとするとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。

備考	
----	--

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	体験Ⅱ					科目	自動車
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						3	自作テキスト

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
高専連携授業の一環として、自動車に関する様々な知識を習得して、自動車への興味関心を持つように様々な体験や見学を通して自動車を理解する。	自動車に関する課題を発見し、工業に携わる者として、自動車に関する育成技術の進展に対応し解決する力を養う。	自動車に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び体験し、様々が学校や企業に見学して主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	ガイダンス(前期)		○	○	○	22
	自動車の発達とあらまし	自動車ができるまで	○	○	○	
	自動車の構造と整備について	①自動車の歴史 ②自動車の種類	○	○	○	
			○	○	○	
	自動車の構造と整備について	①自動車の構造としくみ ②自動車の整備について	○	○	○	
		○	○	○		
2 学期	自動車と環境保全について	②自動車の整備について ②環境保全の取り組み	○	○	○	24
			○	○	○	
	自動車の発達とあらまし	自動車ができるまで	○	○	○	
	自動車の構造と整備について	①自動車の歴史 ②自動車の種類	○	○	○	
			○	○	○	
	自動車の構造と整備について	①自動車の構造としくみ ②自動車の整備について	○	○	○	
		○	○	○		
3 学期						16
	自動車と環境保全について	①自動車の整備について ②環境保全の取り組み	○	○	○	
			○	○	○	

年間予定授業時間数

62

評価の方法	<p>1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等)</p> <p>2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫)</p> <p>3.報告書(内容、提出状況)</p> <p>以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	高専連携授業であるため、本校の自動車工場や専門学校・企業の工場での実習あり

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	キャリアデザイン					科目	体験Ⅱ(共通)
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
各現象を体験することにより、経験者の育成やコミュニケーション能力を高め関連する技術を身に付けるようにする。	体験Ⅰに関する課題を発見し、携わる者として、技術の進展に対応し解決する力を養う。	体験Ⅰに関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学期	4	ガイダンス(前期)	ガイダンス	○	○	○	20
		各分野の体験	各分野の体験	○	○	○	
	5	コミュニケーション能力の育成	生徒同士の話し合い	○	○	○	
		各分野の課題発見	各分野の課題の発見	○	○	○	
	6	解決方法の模索①	生徒同士の絵の解決方法の話し合い	○	○	○	
		解決方法の模索②		○	○	○	
	7	解決方法の決定	解決方法の決定	○	○	○	
2 学期	9	まとめ①	生徒同士の話し合い、発表	○	○	○	35
	10	ガイダンス(後期)	ガイダンス	○	○	○	
		各分野の体験	各分野の体験	○	○	○	
	11	コミュニケーション能力の育成	生徒同士の話し合い	○	○	○	
		各分野の課題発見	各分野の課題の発見	○	○	○	
	12	解決方法の模索①	生徒同士の絵の解決方法の話し合い	○	○	○	
3 学期	1	解決方法の決定	解決方法の決定	○	○	○	15
	2	まとめ①	生徒同士の話し合い、発表	○	○	○	
	3	まとめ②	生徒同士の話し合い、発表	○	○	○	
年間予定授業時間数						70	

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫) 3.報告書(内容、提出状況)  以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	

# 年間授業計画

令和5年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[中国語講座]

No. \_\_\_\_\_

クラス又は班	中国語講座(前期)	中国語講座(後期)			単位数	使用教科書・教材
担当者					2	中国語 はじめの一步 白水社

教科・科目のねらい(目標)	最新の中国事情を習いながら、中国語の基礎力を身に付け、中国への関心を持つようにする。
---------------	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数	
1 学 期	4	発音	四声、母音、子音、簡体字などを特徴をとらえながら指導する。	25	
	5	「あなたは中国人ですか」	中国の教育事情 人称代名詞「AはBである」「不」の声調の変化		
	6	「これは何？」	「何」「誰」疑問詞、疑問文「いの」の使い方 副詞「也」について学ぶ		
	7	「あなたはどこに行きますか？」	中国の高校、大学の様子 「動詞」の文を中心に学ぶ		
2 学 期	9	「自己紹介」	簡単な自己紹介文を書き、中国語で発表する。	30	
	10	発音	四声、母音、子音、簡体字などを特徴をとらえながら指導する。		
	11	「あなたは中国人ですか」	中国の教育事情 人称代名詞「AはBである」「不」の声調の変化		
	12	「これは何？」	「何」「誰」疑問詞、疑問文「いの」の使い方 副詞「也」について学ぶ		
3 学 期	1	「あなたはどこに行きますか？」	中国の高校、大学の様子 「動詞」の文を中心に学ぶ	15	
	2	「自己紹介」	簡単な自己紹介文を書き、中国語で発表する。		
	3	「まとめ」	まとめ		
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	
----------	--

備考	授業は、前期と後期に分かれ、内容は同一。
----	----------------------

# 年間授業計画

令和5年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験Ⅱ] 講座名[色彩検定]

No. \_\_\_\_\_

クラス又は班	2年1組	2年2組	2年3組	2年4組	2年5組	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	色彩検定公式テキスト

教科・科目のねらい(目標)	色彩検定では、日常あらゆる場面で目にする色彩についての関心を高め、グラフィックデザイン・DTP・建築・ファッションなどの分野での活用例を学習し、色彩検定3級合格程度後の知識・理解を得ることをねらいとする。また、色彩検定(冬期)を受験し、3級合格を目指す。
---------------	---

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数
1 学 期	4	ガイダンス	・年間授業の計画 ・色彩検定試験日程、申し込み方法などの概要	18
		色彩検定の概要	・光と色	
	5	光と色	・色名	
		光と色		
		色の表示	・色の三属性、マンセル表色系・ワークを使った色彩の分類	
	6	色彩心理	・様々な色の組み合わせから心理的作用を学ぶ	
		色彩調和	・配色の基本的な考え方・練習問題を解くこと。	
7				
2 学 期	9	ファッション	・ファッション概論 ・ファッションと色彩 ・練習問題を解くこと。	24
		インテリア	・インテリアと色彩	
		環境	・環境色彩 ・練習問題を解くこと。	
	11	色彩検定直前の演習問題	・色彩検定の演習問題・過去の出題問題を解いて、	
		検定の反省	・出題形式に慣れるさせること	
	12	トーン概念図の作成	・トーンについての理解を深める	
3 学 期	1	カラーダイヤルの作成	・色相並びにトーンについての理解を深める	14
		配色演習	・カラーカードを使った演習	
	2			
		まとめ	1年間を振り返っての反省	
3				
年間予定授業時間数				56

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度(出欠席の状況、授業への取り組み)</li> <li>・技能・技術(課題の内容、提出状況)</li> <li>・問題集(解答の内容、提出状況)、小テスト</li> <li>・検定試験の合格状況</li> </ul> 上記の4項目について総合的に評価を行う
----------	---

備考	※検定試験の受験は年1回、11月上旬を予定している。
----	----------------------------

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	地理歴史科					科目	地理総合
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	コネクト 地理総合 第一学習社 高校生の地理総合ノート 帝国書院 基本地図帳 二宮書店

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力、合意形成や社会参画を視野に入れ、構想したことを議論する力を養う。	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4 地球儀と地図	地球上の位置と地上の現象 経度の違いと時差	○	○	○	7
	5 地図と地理情報システム	地図の種類 地理情報システムの利用	○	○	○	8
	6 現代世界の国家と領域	国家の領域と国境 地図から見る日本の位置と領域	○	○	○	8
	7 地図から見る国内や国家間の結び付き	グローバル化と多様な結び付き 拡大する貿易 観光と人の移動のグローバル化	○	○	○	7
2 学期	9 生活文化の多様性と国際理解	生活文化の多様性 世界の地形と人々の生活 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	○	○	○	8
	10 多様な生活文化と地理的環境	経済発展による生活文化の変化 東アジア 他地域との結びつきが生活文化に与えてきた影響 東南アジア ヒンドゥー教と生活文化の関わり インド	○	○	○	8
	11 多様な生活文化と地理的環境	植民地支配の歴史と生活文化の変化 サハラ以南アフリカ 伝統の継承と生活文化の関わり ヨーロッパ 寒冷な気候と生活文化にみられる工夫	○	○	○	8
	12 地球的課題と国際協力	人口問題 食料問題 感染症・衛生問題	○	○	○	8
3 学期	1 自然環境と防災	日本の自然環境 地震・津波や火山活動による災害と防災 地震・津波のしくみと被害	○	○	○	3
	2 自然環境と防災	火山の恵みと噴火による被害 さまざまな気象災害 減災への取り組みと被災地への支援	○	○	○	3
	3 生活圏の調査と地域の展望	地理的な調査テーマの設定 調査結果のまとめ方とプレゼンテーション方法	○	○	○	2

年間予定授業時間数

70

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 【知識・技能】中間確認テスト、期末確認テスト、学年末確認テスト 【思考力・判断力・表現力】中間確認テスト、期末確認テスト、学期末確認テスト、提出物、授業態 【主体的に学習に取り組む態度】出欠席、授業態度、振り返りシート 観点別評価は各項目の点数によって評価する。 評定は、各項目の合計点数によって評価する。
備考	

# 令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	理科					科目	物理基礎
クラス又は班	21	22	23	24	25	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	東京書籍「新編物理基礎」

## 教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
エネルギー的な視点から、自然現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	エネルギー的な視点から、自然現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学期	4	1編 物体の運動とエネルギー				30	
		1章 直線運動の世界	○	○	○		
	5	【実験】等速と加速(正負)					
		重力加速度・放物運動	○	○	○		
		2章 力と運動の法則					
	6	力の合成・分解					
		力の3法則					
7	運動方程式	○	○	○			
	【実験】摩擦力 確認テスト						
2 学期	9	3章 仕事とエネルギー				28	
		仕事の原理と仕事率 力学的エネルギーの保存	○	○	○		
	10	2編 さまざまな物理現象とエネルギー					
		1章 熱	【実験】熱と温度 熱の移動と保存	○	○		○
	11	2章 波	【実験】波の伝わり方 波長と速さと振動数				
		音波	○	○	○		
	12	確認テスト					
3章 電気		【実験】静電気と電界	○	○	○		
3 学期	1	3章 電気				18	
		電磁誘導					
	【実験】電磁誘導	○	○	○			
	2	直流と交流					
		交流発電機	○	○	○		
	3	確認テスト					
		○	○	○			
					年間予定授業時間数	76	

評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等)</li> <li>2. 実験、実習(実験の取り組み、課題の出来ばえ、創意工夫等)</li> <li>3. 提出物(授業プリント、ノート、実験レポートの提出と取り組み状況)</li> <li>4. 小テスト(毎授業で実施)</li> <li>5. 確認テスト(学期に3回実施)</li> </ol> <p>以上の5項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	